

事業所における自己評価結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表：令和 6 年 2 月 26 日

事業所名： 児童発達支援事業所 ナチュファミ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○				一人に対しての基準スペースは十分取れています。今後も継続して取り組んでまいります。
	2	職員の配置数は適切であるか	○				基準を超えて配置しています。様々な対応ができるよう今後も継続して配置して参ります。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○				段差はありますが、子供さんの身体発達療育の一環として配慮しながら、声をかけています。
業務改善	4	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○				当日の振り返り等、職員が把握できるよう申し送りノート等で連携をとっています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				保護者との連携をしっかりとるようにしています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				自己評価表の結果はホームページへ掲載していますが、取り組んだ改善内容等を掲載できるようにしたいと思います。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○				第三者委員会を立てていないため、今後取り組めるようにしたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○				それぞれの経験に合わせた研修を受講してもらっています。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				定期的な連携を図り、保護者のニーズや課題を分析し、より良いサービス計画ができるように、話し合いを重ねていきます。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				新規利用時に発達の確認と見える化の為、検査やアセスメントを定期的に取り組みます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○				全体で周知してもらうため、振り返りや申し送りノート等を活用しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○				個々の成長に適した支援を目標に、積極的に子供たちも活動に参加できるよう取り組んでいきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			休日・長期休暇は特に活動時間の充実に努めています。	平日、休日、長期休暇に応じて、活動内容に変化を持たせ、細やかな支援をしていきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				成長度合いを見ながら、丁寧に支援計画を作成しています。
	15	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○				支援開始前に職員同士で打ち合わせをし、役割分担の確認や支援内容で予想される動きの確認をしています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		翌日の朝礼や昼礼等で、振り返りを行っている。	当日又は翌日の昼礼などでの報告。申し送りノートでの記載等で情報の共有をしています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				活動内容等を記載した活動日誌や・支援に対しての日々の様子などを記録した個別日誌にて記録を行っています。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○				保護者・関係機関等定期的に連携をとり、計画の見直し等職員で協議しています。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○					

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○				
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		医療的ケアが必要な子供さんの利用は現在はない。	医療的ケアが必要な子供さんの利用は現在はいません。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○				相互理解が図れるよう、定期的に情報共有の機会を計画しています。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○				支援内容等の情報共有は積極的に取り組んでいます。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				時事に応じての情報共有や問題解決につながるような時間を持てるようにセンターからの発信を待つだけでなく、声掛けを行っている。積極的な研修の参加も行っています。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		コロナ感染予防のため交流する機会が作れなかった。	ここ数年はコロナ感染防止のため、交流の機会が作れなかったが、今後は機会を作っていきたいとおもいます。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○				積極的に参加しています。
保護者への説明責任等	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				送迎時の短時間でも気になる事や前向きな声掛けを保護者へ伝えるようにしています。
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○				プログラムとして今後行えるよう職員研修などでスキルアップに努めています。
	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				文書と合わせて説明をさせていただいております。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				保護者からの相談に対して、安易なお返事で混乱させてしまう事を避け、すぐに回答できない場合は調べて必ず折り返し連絡をしています。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○				保護者会やナチュカフェ等を開催し、保護者同士の連携ができるよう支援していますが、近年コロナ禍によりあまり集まらず連携が難しかった。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				苦情があった場合はマニュアルに基づいて対応をし、真摯に向き合い適切に対応している。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				定期的な通信を発行し、今月の行事予定等を発信しています。子供さんには事業所へ掲示もしております。
	35 個人情報に十分注意しているか	○				職員全員が個人情報の取り扱いについては十分注意しております。
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				通信の発信だけではなく、メールや送迎時などで情報伝達をしています。
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			コロナ感染予防のため交流する機会が作れなかった。	本年度もコロナ感染予防のため、事業所の行事を縮小していました。状況を見ながら今後は地域住民を招待できるような行事を開催していきたいと思います。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○				今後も継続して研修等を開催し職員の意識を高めるため、より周知していきたいと思います。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○				火災・地震等の避難訓練を年間行事に計画をし開催しています。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				虐待防止委員会の設立をし、職員の研修の受講を施し、必要に応じて委員会を開催するようにしています。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○				命の危険を感じる場合のやむを得ない場合の拘束に対する説明は行っています。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			現在アレルギーのあるお子さんはいない。	現在アレルギーのあるお子さんはいない。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				ヒヤリハットがあった場合は書類を作成して、回覧にて事業所内で共有しています。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)